

令和5年度 地域課題解決型空き家活用支援事業

事業者：株式会社スピーク 連携する区市町村：東村山市

事業の概要

住民の高齢化が進み今後も空き家の増加が見込まれる地域課題を踏まえ、これまで培った地域活性化のノウハウを活かし、東村山市の関係部署や地域の事業者、団体・個人と継続した連携体制を築くことで、空き家の掘り起こしに取り組む。

活用対象の空き家は、アトリエや店舗併用の住宅に改修して、小さな個人商店の出店や職住近接の環境を求める層など新たに若い世代を呼び込むことで、移住・定住の促進に繋がる利活用を行っていく。

こうした取組のプロセスや活用事例等を地域内外に情報発信するとともに、他の地域にも広げ活性化に取り組んでいく。

取組内容

1. 地域活性化に取り組む主体の洗い出し

対象地域において既に、地域の事業者等との連携や協働による以下の二つの取り組みを進めており、これらを中心に関わりが期待できる地域の主体（個人・団体・事業者等）を洗い出し、空き家活用の取り組みへの参加を呼び掛ける。市のシティセールス課、商工会等との連携を行っていることから、そうしたルートでの空き家の発掘を行う。また商店会、自治会との連携や地主、農家等の地域で多くの不動産を所有している人々へのアプローチも行う。

- A. 青葉商店街の活性化
- B. 萩山公園のパークPFI事業

2. 空き家の掘り起こしと活用の機運醸成

空き家の掘り起こしは、近隣住民や自治会を通じたアプローチを中心に行う。そのため空き家活用の手法、活用時の課題の解決方法、借り手のニーズ等についての資料等を作成する。それらを用い、参加する人々が、日常的な活動やコミュニケーションの中で空き家の活用に取り組める状態をつくる。また商店街や公園での定期的なイベント開催を想定しているため、それらの機会を活かした地域での空き家活用の機運醸成による空き家の発掘にも取り組む。

3. 空き家の活用

活動により発掘した建物について、建物のコンディションに応じて、アトリエや店舗併用の住宅などにリノベーションを実施する。